

トビウオ通信 (H28 第4号)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 28 年度第 1 回日本海スルメイカ漁況予報》

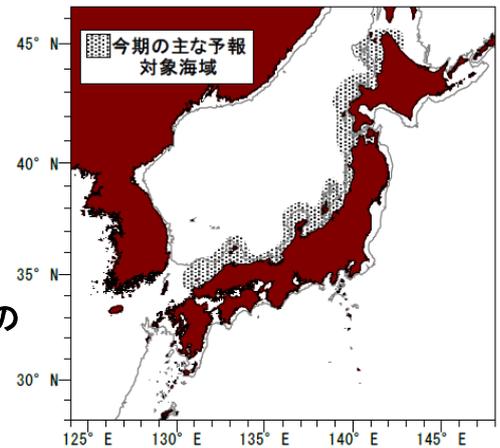
平成 28 年 4 月 28 日に国立研究開発法人水産研究・教育機構（日本海区水産研究所）より「平成 28 年度第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報 ^{※1}」が発表されました。今回はその概要と島根県沖でのこれまでのスルメイカ漁況を紹介します。

今後の見通し(平成 28 年 5 月～7 月)のポイント

対象魚種：スルメイカ
対象海域：日本海
対象漁業：主にいか釣り漁業
対象魚群：主に秋季発生系群

- (1) 来遊量：前年並で近年平均を下回る。
- (2) 漁期・漁場：本州北部以北を中心とする漁場における漁期の開始時期は前年及び近年平均よりも早い。

* 近年は最近 5 年間(平成 23 年～平成 27 年)



(1) 来遊量

平成 27 年 10 月～11 月に実施された日本海スルメイカ幼生分布調査では、スルメイカの幼生分布量は前年・近年平均を下回る状況でした。また、平成 28 年 4 月に実施された漁期前調査（スルメイカ新規加入量調査）では、今期に漁獲が期待されるサイズのスルメイカの分布量は、前年・近年平均を下回る状況でした。こうした調査結果から、今期（5 月～7 月）の来遊量は「前年並で近年平均を下回る」と予測されています。

(2) 漁期

漁期については、①平成 28 年 4 月中旬の日本海の表面水温は、全体として平年並～やや高めであり、北緯 40 度付近で平年比が最も高かったこと、②対馬暖流域における今後（4 月～6 月）の表層水温及び水深 50m の水温が平年よりも「やや高め」（平年は過去 30 年の平均値）で経過する

との海況予測（第1回日本海海況予報^{※2}、国立研究開発法人水産研究・教育機構、平成28年4月6日公表）から「本州北部以北を中心とする漁場における漁期の開始時期は前年及び近年平均よりも早い」と予測されています。

※1～2は以下をご覧ください。

※1：http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr27/20150428_n/20150428-n.pdf（水産研究・教育機構のホームページより）

※2：<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr27/20150408/20150408press.pdf>（水産研究・教育機構のホームページより）

島根県沖でのスルメイカ漁況

主要3港（浜田、西郷、恵曇）^{※3}における小型イカ釣（5トン以上30トン未満）によるスルメイカの月別の水揚動向を図1に示しました。平成28年の1月～3月までの水揚量は415トンで、前年・近年平均を下回る漁況で経過しています（前年比61%、近年平均比94%）。

これは海水温等の条件によりスルメイカの

南下経路が従来よりも沖合寄りに変化し、島根県沿岸域へのスルメイカの来遊量が少なかったことが原因と考えられます。

※3：平成28年は浜田、西郷は属地、恵曇は属人（恵曇支所所属、恵曇漁港水揚）のデータを集計。

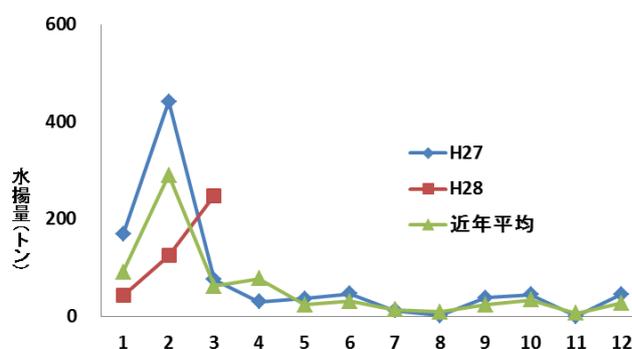


図1. 主要3港(浜田、恵曇、西郷)におけるスルメイカの水揚動向